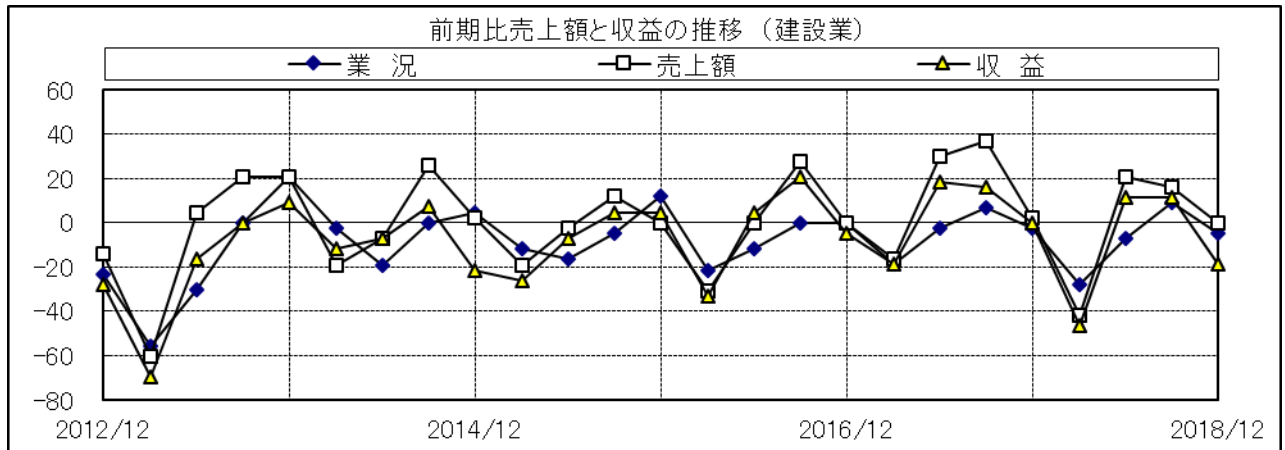


建設業 43 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
業 況	-7.0	9.3	-4.6	-9.3
売上額	20.9	16.3	0.0	-30.3
収 益	11.5	11.6	-18.7	-32.5

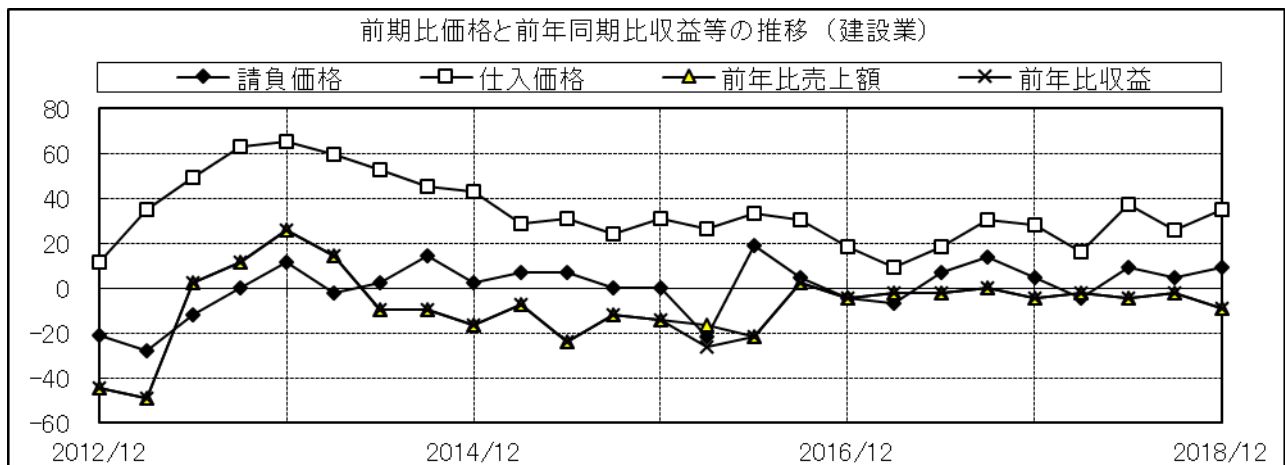
今期の業況判断 D. I. は $\Delta 4.6$ で、前期比 13.9 ポイント下降、前年 ($\Delta 2.4$) 比 2.2 ポイント下降した。地区別 D. I. の水準は高い順に、えりもが最も高く、三石、様似が同率で続き、次に静内、浦河が同率となり、広尾が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は、前期比 16.3 ポイント下降した。収益判断 D. I. は前期比 30.3 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
請負価格	9.3	4.8	9.4	-4.7
仕入価格	37.2	25.6	35.0	21.0

請負価格判断 D. I. は 9.4 で、前期比 4.6 ポイント上昇、前年 (4.6) 比 4.8 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 35.0 で、前期比 9.4 ポイント上昇、前年 (28.0) 比 7.0 ポイントの上昇となった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
残業時間	0.0	0.0	-2.4	-14.0
人手状況	-11.6	-14.0	-37.2	-30.2

残業時間判断 D. I. は $\Delta 2.4$ と前期比 2.4 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は $\Delta 37.2$ と、前期比 23.2 ポイント下降し、人手不足感が一層強まった。

□ 設備投資の動き

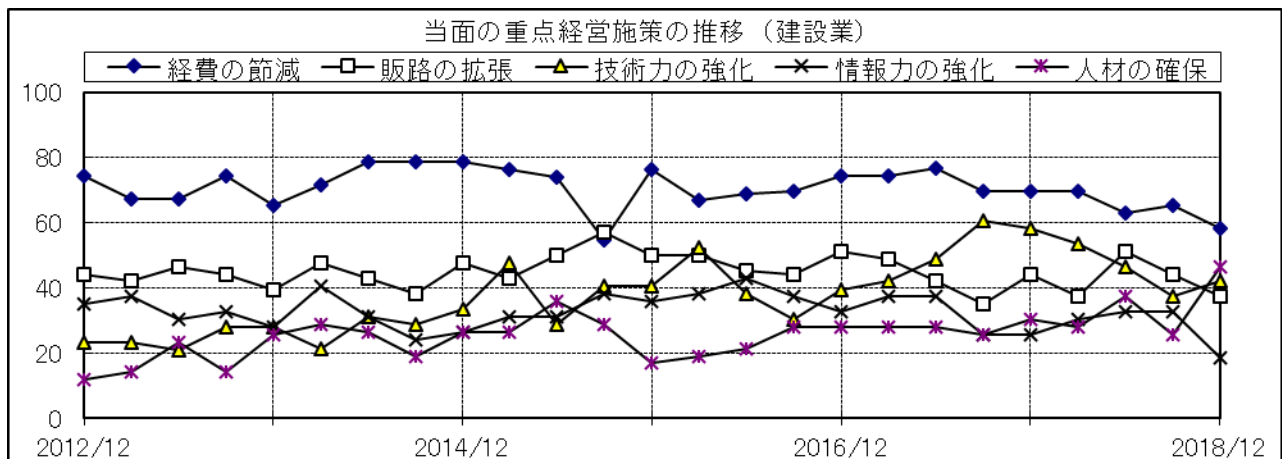
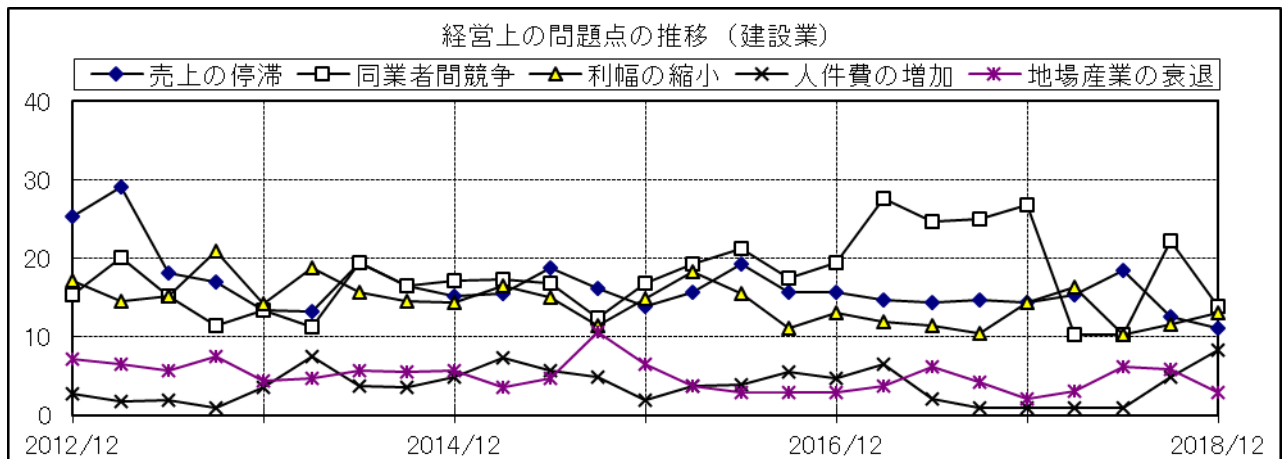
設備投資の充足感を示すD. I. は $\Delta 7.0$ で、前期(0.0)比7.0ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は18.6で、前期(16.3)比2.3ポイント上昇した。設備投資は、前期7社に対し、8社の実施となった。来期の設備投資は、7社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「人手不足」が14.8%と最も多く、「同業者競合」13.9%、「利幅縮小」13.0%・「売上停滞減少」・「材料価格上昇」11.1%、「人件費増加」8.3%、「下請確保難」6.5%、「大手企業競合」・「天候不順」4.6%、「諸経費増加」・「技術力不足」3.7%、「地場産業衰退」2.8%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が58.1%と最も多く、「人材確保」46.5%、「技術力強化」41.9%、「販路拡大」37.2%、「情報力強化」18.6%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は $\Delta 9.3$ と、今期比4.7ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は $\Delta 30.3$ と、今期比30.3ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は $\Delta 32.5$ と、今期比13.8ポイントの下降を見通している。

予想請負価格判断D. I. は $\Delta 4.7$ と、今期比14.1ポイントの下降を見通している。

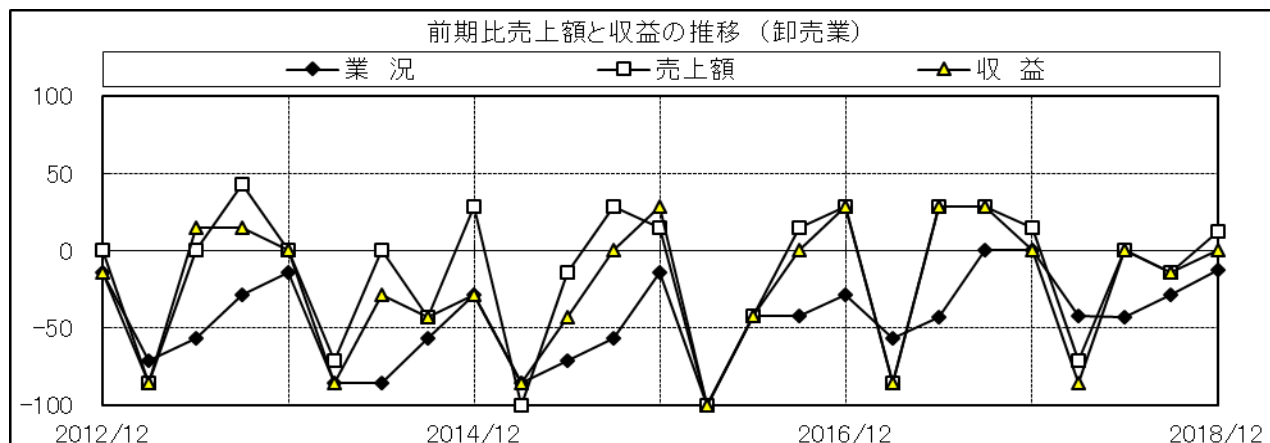
予想仕入価格判断D. I. は21.0と、今期比14.0ポイントの下降を見通している。

卸売業 8企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 景況

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
業況	-42.9	-28.6	-12.5	-37.5
売上額	0.0	-14.3	12.5	-50.0
収益	0.0	-14.3	0.0	-37.5

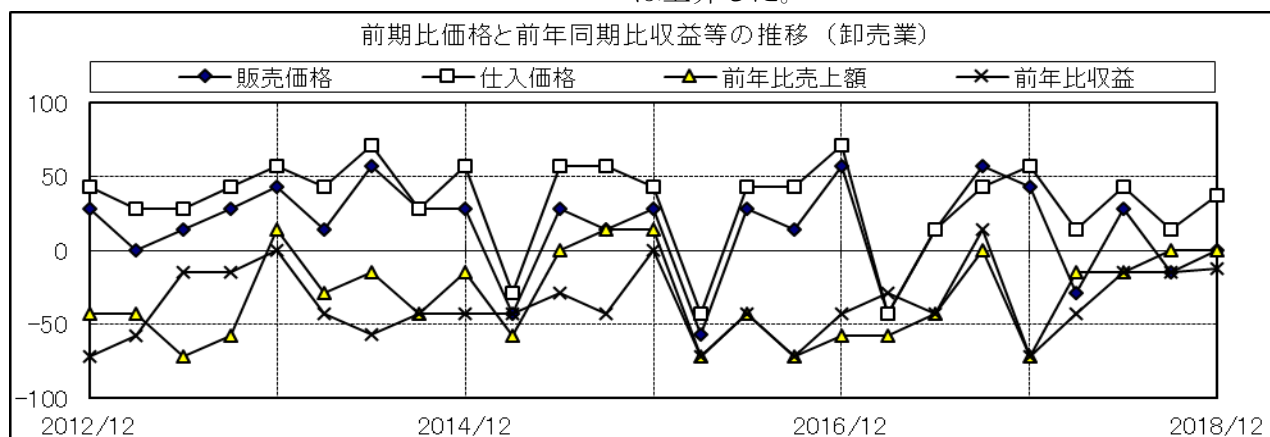
今期の業況判断 D. I. は△12.5 で、前期比 16.1 ポイント上昇、前年(0.0)比 12.5 ポイント下降した。地区別の水準は、浦河・様似地区は上昇、静内地区は横這いとなった。売上額判断 D. I. は 12.5 で、前期比 26.8 ポイント上昇。収益判断 D. I. は 0.0 で、前期比 14.3 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
販売価格	28.6	-14.3	0.0	0.0
仕入価格	42.9	14.3	37.5	50.0

販売価格判断 D. I. は 0.0 で、前期比 14.3 ポイント上昇、前年(42.9)比 42.9 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 37.5 で、前期比 23.2 ポイント上昇、前年(57.1)比 19.6 ポイント下降した。業種別では、水産業は販売価格が上昇、仕入価格は横ばい。食品業は、販売価格は横ばい、仕入価格は上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
残業時間	14.3	0.0	12.5	0.0
人手状況	-28.6	-14.3	-25.0	-25.0

残業時間判断 D. I. は 12.5 で、前期比 12.5 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△25.0 で前期比 10.7 ポイント下降し、人手不足感が強まった。

□ 設備投資の動き

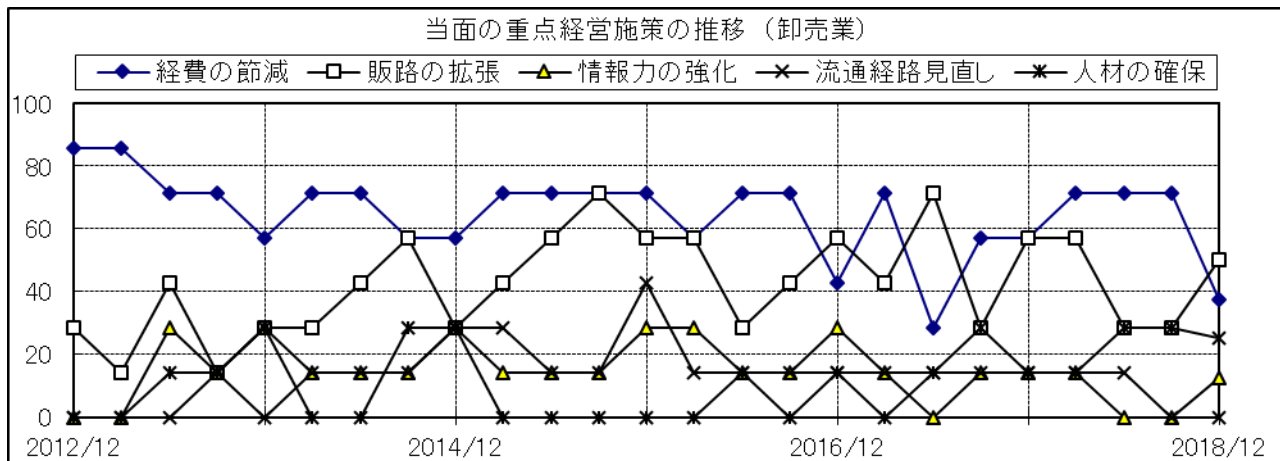
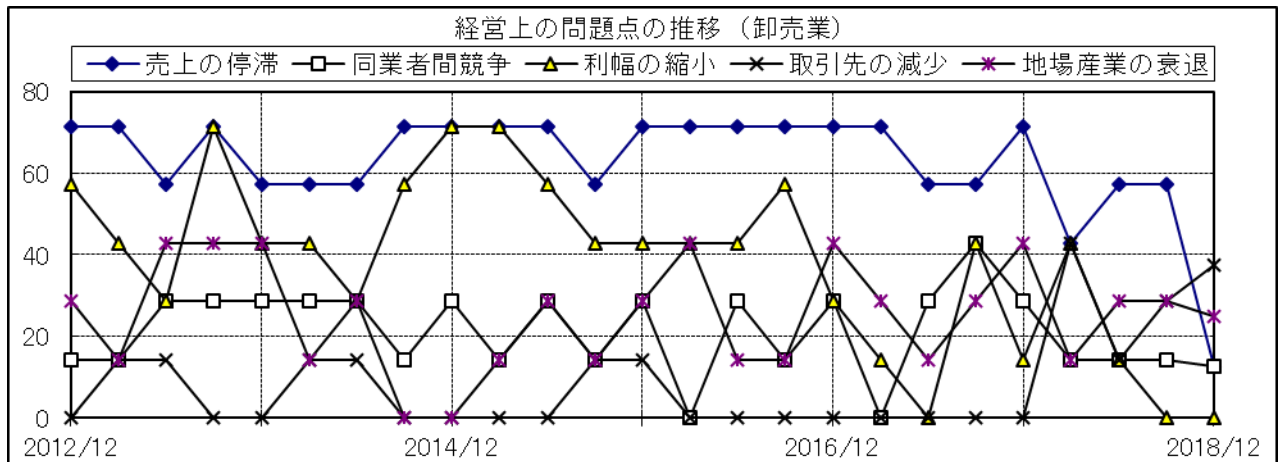
設備投資の充足感を示すD. I. は $\Delta 12.5$ で、前期($\Delta 14.3$)比1.8ポイントの上昇となった。

設備実施企業割合は0.0で、前期(0.0)と同水準となった。設備投資は、前期0社に対し、実施企業は0社。来期の設備投資予定も0社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「取引先減少」が37.5%と最も多く、「流通経路変化競争」・「販売商品不足」・「店舗老朽化」・「天候不順」・「地場産業衰退」25.0%、「売上停滞減少」・「同業者競争」・「値上要請」・「人件費増加」・「諸経費増加」12.5%となっている。

重点経営施策では、「販路拡大」が50.0%と最も多く、「経費節減」37.5%、「新事業」・「人材確保」・「不動産有効活用」25.0%、「品揃え充実」・「情報力強化」・「パート化」12.5%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は $\Delta 37.5$ と、今期比25.0ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は $\Delta 50.0$ と、今期比62.5ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は $\Delta 37.5$ と、今期比37.5ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断D. I. は0.0と、今期と同水準を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は50.0と、今期比12.5ポイントの上昇を見通している。